

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 腹腔鏡下胆嚢摘出術後に判明した胆嚢癌(偶発胆嚢癌)の解析
研究機関名 東邦大学医療センター大橋病院
研究責任者 外科 職位・氏名 准教授 浅井 浩司

【研究の目的】

東邦大学医療センター大橋病院外科では、腹腔鏡下胆嚢摘出術後に判明した胆嚢癌(偶発胆嚢癌)の解析を行い、その病理所見結果と再発形式、予後を明らかにすることを目的として本研究を計画しました。

この研究で得られる成果は、偶発胆嚢癌の患者さん予後予測に寄与し、同じような患者さんの治療方針の決定の補助的な情報につながると考えております。

【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター(大橋病院)倫理委員会の承認を得て実施するものです。
対象者:2008年4月～2023年5月までに東邦大学医療センター大橋病院において、腹腔鏡下胆嚢摘出術後に判明した胆嚢癌(偶発胆嚢癌)の患者さん25例を対象としています。

方 法: 診療録から抽出したデータを解析します。

【研究に用いられる試料・情報】

主要評価項目:偶発胆嚢癌の生存期間、再発形式の評価

副次評価項目:追加切除施行時の治療成績の評価

・患者因子:年齢、性別、併存疾患、身長、体重、BMI、など

・病変因子:術前診断、病変の局在、病理所見、など

・周術期因子:出血量、手術時間、術中輸血量、術後合併症、術後在院期間、術死

術中胆汁漏出の有無、上記は初回手術時、追加切除時のそれぞれを評価する。

・予後因子:生存期間、補助療法の有無、再発形式、など

予後に関する観察期間は術後3年とする。

【研究組織】

代表施設名: 東邦大学医療センター大橋病院 外科

研究代表医師: 浅井 浩司 役職: 准教授

【個人情報について】

研究に利用する情報は、患者様のお名前、住所など、個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報を利用することはありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

また、術後に死亡した患者さん、認知機能が低下した患者さんに関しては家族が代諾者となり、代諾者による参加拒否を受け入れるものとします。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大橋病院 外科

職位・氏名 准教授 浅井 浩司

電話 03-3468-1251 内線 7176